



市議 東 よしき

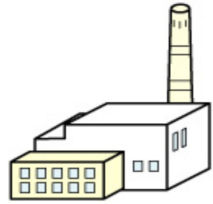
一般質問

新ごみ処理施設建設 主体はブロック会議

新ごみ処理施設建設事業は、平成25年2月4日の第1小ブロック会議で「江南市が提案した中般若地区の建設候補地については、江南市が責任を持って速やかに地元及び地権者の同意を得るものとする」と合意され、この間江南市の対策室が対応してきましたが、対策室だけでは限界があり、第1小ブロック会議準備室が責任を持って対応していく必要があるのではと質しました。

「今後についても、対策室を中心に1日も早く地元の方々に理解が得られるよう2市2町の協力を得ながら、取り組んでいきたい」との答弁でした。

地元同意が得られたとしても、その先に



は地権者の同意も必要になり売買契約を結ぶことも江南市に課せられています。しかし土地の売買金額まで江南市だけで責任を負えないのは自明のこと。どこに建設するにしても本来責任を持てるのはブロック会議と準備室であり、江南市から平成25年2月以前の状態に戻し4市町が協力して取り組んでいけるよう申し入れるべきだと主張しました。

住宅リフォーム助成の再開を

市長の選挙公約に「住宅リフォーム助成で住み良い住宅と市内企業の経済活動を推進」とあるが、公約実現のめどはと質しました。市長は「自分の任期中のスパンで考えていきたい」との答弁でした。

戦争法案に対する市長の見解は

市長は「国の安全保障、国際貢献の問題が根本にある。政府の責任で十分に議論していただきたい」と答弁しました。

道路標示改善と 信号機のLED化を！

横断歩道や追い越し禁止線などの道路標示が消えている。また信号機のLED化が遅れているのではないかと市民からの声を取り上げ、質問しました。

愛知県は6月議会に、「消えた道路標示」への対策費として1億8000万円の補正予算を組みました。一斉点検を行って要望を県に出すべきではないかと主張しました。当局は、「一斉点検は難しい。地元などから要望のあった所について順次県へ要望していく」との答弁でした。

医療費無料化は来年4月から

市長の公約でもある「中学生までの医療費無料化」を少しでも早くできないかと質しました。

「今年から1割負担に変更したばかりなので、途中からは難しい。来年4月実施に向け努力していく」との答弁でした。

5歳児健診の実施で 発達障害の早期発見を



市長の施政方針で「5歳児健診の検討」とあるがどのように進めるのか質しました。

「5歳児健診の最も高いハードルは、専門医師の確保であり、早急な実施は難しい。当面発達障害の相談に携わるスタッフの知識と技量を培って、発達支援と早期気づき（発見）に努め、関係機関との連携を図りながら検討する」との答弁でした。



市議 森 ケイ子

一般質問

市長の退職金削減は、どの程度？

市長は「この間、職員の退職金が削減されており、それに見合うものと考えている。今後適切な時期に判断する」と答弁しました。



市議 かけの 掛布まち子

一般質問

安くて便利なバスを

いこまいCAR（予約便）の昨年度実績では、登録者6,443人の中で実利用者は2,057人。一人平均で年間約28便と、往復で月1回程度の外出に使っただけです。「生活を支える足」としての活用には程遠く、市周辺部では料金が高く利用できない実態もわかりました。

市長が選挙公約で掲げた「コミュニティバスの導入調査・検討開始」「市民の足としての公共交通の再構築、市民参加でより良い方法を検討」の具体化で、どこに住んでいても気軽に外出できるまちの実現を求めました。

市長は「いこまいCARは地域による料金格差がある。市民参加や外部委託も視野にいれ新たな体制で、コミュニティバスの導入を含む公共交通について検討を進め、次のステップに移っていく」と答弁しました。



市民中心で新図書館建設を

「新図書館建設で知の拠点づくり」という市長公約について質し、計画の最初の段階から市民を中心に据え、新図書館建設基金の積み立ても再開するよう求めました。

市長等は「基本構想策定の検討準備のため庁内プロジェクトチームを立ち上げる。新図書館を市民といっしょに作り上げる」と答えたものの、基金積み立て再開について明確な答弁はありませんでした。

資源ごみをもっと出しやすく

常設の資源ごみ回収ステーションの設置を急ぐよう求めました。「まずは旧清掃事務所で開始する」との答弁でした。

* そのほか、「江森山尻住宅の下水用埋設管撤去に対し、市は誠実な対応を」「憲法に立脚した中学校教科書の採択を」求めて質問しました。